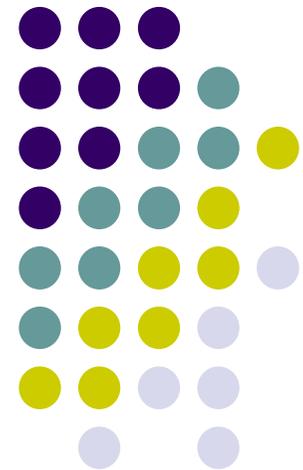
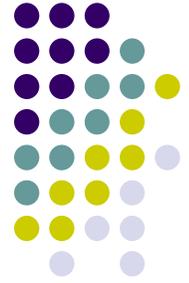


# 口頭発表用レジュメの 作成指導について

一箇条書きと構成の指導を  
中心として一

東京情報大学  
茂住和世

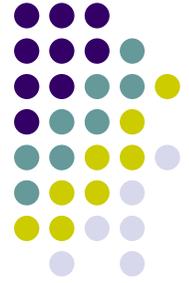




# 1. はじめに

- レジюмеとは

発表内容を要約したものの  
発表のときの配布資料



# 1. はじめに

< レジユメの種類 (森靖雄1995) > (資料1)

抄録型レジユメ: 要旨を文章で示したもの  
論文等をそのまま要約したもの

列挙型レジユメ: 要旨を箇条書きで示したもの  
見出しに番号をつけて示す

資料混合型レジユメ: に図表を加えたもの

本実践:

本発表:



## 2. 学習目標

- 学部留学生にレジユメの作り方を学んでもらう

視覚に訴える表現形式

体言止め

箇条書き

記号・文字

インデント

見出し



## 2. 学習目標

- 学部留学生にレジユメの作り方を学んでもらう

内容の構成やカテゴリーを意識する

分類的構成  
時間的構成  
対比的構成  
空間的構成  
因果関係的構成  
上位概念か  
下位概念か

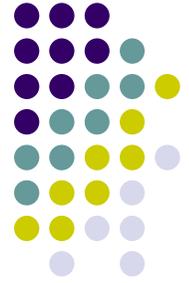


## 2. 学習目標

- 学部留学生にレジユメの作り方を学んでもらう

論を階層構造化させる

- .....
  - (1) .....
  - (2) .....
    - a. ....
    - b. ....
- .....
  - (1) .....



### 3. 本実践の概要

- 指導対象：学部2年次の外国人留学生  
日本語レベル中級後半～上級  
1クラス15人～20人程度  
漢字圏の学習者が多数だが非漢字圏学習者も含む
- 指導時間：1コマ90分 × 7回程度

## 4 . 本実践の教えやすさと学びやすさ



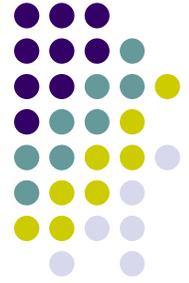
- 3年次からはゼミで発表がある 学習者に強いインセンティブがある
- 書く量が少ない 負担感が少ない  
板書をさせても時間がかからない
- ほかの学習者の例と比較しやすい 良し悪しを自分で判断しやすい
- レジюме作成を目指した読解 「読んでわかって終わり」という読解に比べ達成感がある



## 5 . 指導の流れ

- (1) 学習目標の明示
- (2) 簡潔な表現にする練習
- (3) レジューメの基本的構成を学ぶ
- (4) 構成を意識したレジューメ作成
- (5) 総合的練習

レジューメとは何か  
レポートとの違い  
レジューメの特徴



## 5 . 指導の流れ

- (1) 学習目標の明示
- (2) 簡潔な表現にする練習
- (3) レジユメの基本的構成を学ぶ
- (4) 構成を意識したレジユメ作成
- (5) 総合的練習

### 箇条書きの基本形

- ・体言止め
- ・漢字熟語
- ・助詞で終わる文
- ・できるだけ簡潔に  
要点だけを書く
- ・・・など



## 5 . 指導の流れ

- (1) 学習目標の明示
- (2) 簡潔な表現にする練習
- (3) レジユメの基本的構成を学ぶ
- (4) 構成を意識したレジユメ作成
- (5) 総合的練習

分類的構成  
時間的構成  
対比的構成  
空間的構成  
因果關係的構成



## 6. レジューメ作成指導の前に

- 簡潔な表現にする練習(ピロッタ丸山淳他1996)

例: 普遍的なエネルギーというものではありません  
普遍的エネルギーではない

例: 歴史的な進化があるかどうかということが問題  
なのだと思います

歴史的進化の有無が問題

例: 自給自足の世界なんてものはあり得るんでしょ  
うか 自給自足の世界はあり得るのか



## 6. レジューメ作成指導の前に

レジューメの基本的構成を学ぶ(東海大1995)

- 分類的構成
- 時間的構成
- 空間的構成
- 対比的構成
- 因果関係的構成

実物を何例か見せ、それぞれの部分が  
どんな構成で書かれているかを考えさせる



## 7. レジюме作成練習の実際

- 資料2を利用

【目的】

これから作成練習をするレジюмеとはどのようなものかをわからせる

# 7. レジューメ作成練習の実際

(資料3を利用)



広告媒体の種類

OK

1. 印刷媒体

・・・新聞、雑誌

(中略)

4. 新しい媒体:ニューメディア

・・・CATV、データ通信

5. その他の媒体

・・・映画、マッチ

広告媒体の種類

NG

1. 印刷媒体

・・・新聞、雑誌

(中略)

4. 新しい媒体

・・・ニューメディア、CATV、  
データ通信

5. その他の媒体

・・・映画、マッチ

# 7. レジューメ作成練習の実際

(資料4を利用)



## 人間の感覚 **OK**

1. 視覚  
…文字、記号、サイン
2. 聴覚  
…(中略)
3. 嗅覚
4. 味覚
5. 触覚

## 人間の感覚 **NG**

1. 視覚  
…文字、記号、サイン
2. 聴覚  
…(中略)
3. 嗅覚、味覚、触覚



## 7. レジюме作成練習の実際

- A商店ではこのようなものを販売している。  
A商店の商品構成を示せ。

缶詰

缶切

みかん

トマト

イチゴ

切手

大根

はがき

苺用ミルク

果物用ナイフ



## 7. レジユメ作成練習の実際

### A商店の商品構成 **OK**

1. 食品
  - (1)野菜:大根、トマト
  - (2)果物:みかん、イチゴ
  - (3)加工品:缶詰、  
                                苺用ミルク
2. 雑貨:缶切、  
                                果物用ナイフ
3. その他:切手、はがき

### A商店の商品構成 **NG**

1. 野菜:大根、トマト
2. 果物:みかん、イチゴ
3. 郵便:切手、はがき
4. 食品:缶詰、苺用ミルク
5. その他:缶切、  
                                果物用ナイフ

# 7. レジューメ作成練習の実際

(資料5を利用)



結婚に関する社会習慣

OK

1. 一人の人が持てるパートナーの数

- (1)一夫多妻制:多くの社会
- (2)一妻多夫制:数は少ない
- (3)一夫一婦制:ヨーロッパに起源を持つ社会

結婚に関する社会習慣

NG

- (1)一夫多妻制:男性が二人以上の妻を持つことが認められている
- (2)一妻多夫制:女性が二人以上の夫を持つ
- (3)一夫一婦制:男女ともに一人のパートナー

# 7. レジューメ作成練習の実際

(資料5を利用)



3. 結婚に際して富が移動するときの方向

- (1) 花婿 花嫁(家畜、金銭、労働)
- (2) 花嫁 花婿(持参金、土地の所有権)
- (3) 近親者、友人など 本人(家庭用品)

OK

- (1) 花婿やその血縁者が、花嫁の家族に富を提供する
- (2) 花嫁が持参金という形で金銭を花婿の家族に送ったり、土地の所有権が移行する
- (3) 新しい家庭を作るのに必要な家庭用品を双方の近親者、友人などがプレゼントとして贈る

NG

# 7. レジューメ作成練習の実際

(資料6を利用)



問題解決のステップ

OK

1. 問題を理解する

(中略)

3. 計画を実行する

一つ一つの段階が目標  
の実現に向かって  
いるかどうかを確認する

4. 得られた答えを(以下略)

問題解決のステップ

NG

A.問題を理解する

(中略)

C.計画を実行する

(1)一つ一つの段階が目標  
の実現に向かって  
いるかどうかを確認する

D.得られた答えを(以下略)

# 7. レジューメ作成練習の実際

(資料7を利用)



終身雇用制

OK

1. 労働者側にとって

(1) 長所

(2) 短所

2. 企業側にとって

(1) 長所

(2) 短所

終身雇用制

NG

1. 労働者側の長所

2. 企業側の長所

3. 企業側の短所

4. 労働者側の短所



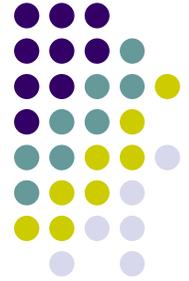
## 8 . 課題(宿題)のフィードバック

【評価ポイント用紙(資料8)】を貼付して返却

- 注意すべきポイントを記号で示す
- レジユメの訂正すべき箇所に赤い下線とポイントコードを記す
- 訂正の割合に応じてABCDで評価 (Dは再提出)

レジユメの書き方には個人差があるので「正解」を示すようなことはしない

そのレジユメで課題文の内容が正しく伝わるか  
見やすく整理され、簡潔な表現であるか



## 9. 指導上の工夫

- 単語のみ 短い文章 長い文章
- 単純な階層構造 複雑な階層構造
- 段落ごとにまとめる 大きなまとまりを考える
- 適切なアウトラインがほぼ決まっているもの  
アウトラインの書き方に自由度があるもの
- 内容構成ごとに練習 総合的な練習



## 10. 実践を通じてわかったこと

- 文章をレジュメ化する作業に必要な力  
重要なポイントやその比重をおさえることのできる読解力

内容理解はできても、レジュメ化する時にどの部分を抽出すべきかの取捨選択に迷う



## 10. 実践を通じてわかったこと

- 文章をレジュメ化する作業に必要な力

内容同士の関係を考え、その階層を組み立てられる構成力

要点を並べる時に並列的に並べるのか、上位あるいは下位項目として並べるのか迷う

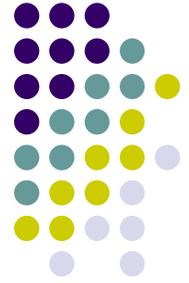


## 10. 実践を通じてわかったこと

- 文章をレジュメ化する作業に必要な力

### 簡潔な表現で箇条書きできる表現力

本文をそのまま転記し、箇条書きとしては長すぎる文となったり、見出しに用いる語彙が不適切な表現になる



## 11. おわりに

### 【本実践以降の学習活動】

- ブックレポートレジュメを作って発表する
- テーマを設定し、それについて調査したものをレジュメにまとめ、発表する

### 【今後指導を検討したい活動】

- パワーポイントスライドの作成及び発表